

# 知識ゼロからはじめる

# 図面の読み方

図面の基礎  
Level00

超入門

図面の知識が全くない文系出身者から新人設計者にもお勧めのコースです。

図面を見て理解するための最低限の知識を得るコースです。図面は描かないけれど、読めなければ困るという、営業、購買、生産管理の担当者もターゲットにして、図面に何が描いてあるのかを知ります。投影図の読み方と図面に使用する記号(材質・形状・ねじ・公差・加工など)の意味を中心に、広く浅く学びます。

## 講座内容(予定)

### I. 図面の基本を知らなければ会話もできない!

- 【1】業務の中の図面の役割  
一般的な製造業における業務の流れと図面の役割
- 【2】実力診断テスト  
○×クイズによる現状知識の確認
- 【3】図面要素  
図面に用いる単位、線の種類、用紙サイズと折り方、知っておきたい専門用語

### II. 図面を見て形状がイメージできる、これが第一歩

- 【1】「投影法」・・・立体を平面上(図面)に表す方法を知る
- 【2】一般的な投影法「第三角法」で描かれた形状を読み取る  
演習:サイコロを使って、第三角法を習得する
- 【3】脳を使ってイメージするトレーニング  
演習:指定された向きの投影形状の選択  
演習:フリーハンドによる立体図の作成 <図解力の向上>

### III. 図形をより具体的に類推するための情報を読み取る

- 【1】図形以外の情報がヒントになる  
表題欄から読み解く部品名称、材質記号、表面処理記号、尺度
- 【2】形状を表す寸法補助記号  
φって? Rって? Cって? tって?  
演習:図面を見て指定部位の寸法を答える(1)
- 【3】図面に必須の特殊記号  
Mって? キリって? H7って? Ra25って?  
演習:図面を見て指定部位の寸法を答える(2)

### IV. まとめ

- 【1】理解度確認テスト  
○×クイズによる研修後の理解度の確認
- 【2】質疑応答



副読本として、講師著書の【図面って、どない読むねん! LEVEL 00 第2版-現場設計者が教える図面を読みとるテクニック-】(日刊工業新聞社)を使用します。※本書は参加費に含まれています。

## 対象者

- ・ ~5年目位の技術者、製図を今一度見直したい中堅設計者
- ・ CADオペレータ、トレーサー
- ・ 生産技術者や加工現場の作業員、また営業、購買、生産管理など実務で図面読解が必要な方

※受講決定後にキャンセルされる場合は、受講料を請求させていただき、講座で使用しているテキスト類を送付いたします。予めご了承ください。

## 開催日

2026年

5月14日(木) 10:00~17:00  
(受付9:30~)

## 会場

※いずれも県内企業優先

### メイン会場

テクノアークしまね 大会議室 (定員) 30名  
(松江市北陵町1番地)

### サテライト会場

いわみぷらっと 会議室 (定員) 20名  
(浜田市相生町1391-8)

※メイン会場での講義をライブ中継し、サテライト会場にてご覧いただけます。

## 受講料

3,300円(税込)/人  
(講座終了後、請求書を郵送いたします。)

## 携行品

筆記用具(4色ボールペン推奨)、蛍光ペン  
(フリーハンドで演習を解答します。)

## 講師

藤崎 淳子 氏

Material工房・テクノフレクス 代表

独立行政法人長野職業能力開発促進センター松本訓練センター 講師  
長野県南信工科短期大学校 非常勤講師

### 【略歴】

長野県上伊那郡在住の設計者。1980年代より、工作機械・工具販売商社、樹脂材料・加工品商社、プレス金型メーカー、基板実装メーカーなど数社におよぶ勤務経験を経てモノづくりの知識を深める。紆余(うよ)曲折の末、2006年にMaterial工房・テクノフレクスを開業。設計業者としては、主に電子部品製造メーカーの生産現場を支援する治具や機器の設計製作を請け負い、「一人ファブレス」として現場打ち合せ、設計、部品加工手配、組み立て、納品を一人でこなす。

一方では、「ママさん設計者シリーズ」と称したモノづくり初心者やさしい技術コラムの執筆や、製造現場に向けた次世代モノづくり人材育成活動として、機械製図基礎講習、部品加工法基礎講習、3D設計ツールを活用した一気通貫モノづくり等の講習を行っている。